

令和5年度

肢体不自由教育部門

高等部

第1・3学年

④b 学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画						
部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第 1・3 年	
教科等名	国語(知)			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 日常生活に必要な語彙力や国語に関するスキルを身に付け、適切に使うことができる。 (2) 話し合いや発表など、人との関わりの中で伝え合う力を高める。 (3) ことばのもつ良さを感じ、国語を大切にするとともに、言語活動を通して自分の思いや考えを広げることができる。					
担当教員	小畑 圭輝		年間授業時数	105 時間		
使用教科書	くらしに役立つ国語(東洋館出版社)					
主な指導の工夫	(1) 感じたことを自分の言葉で表現する機会を多くもつ。 (2) 漢字や反復練習や文章作成を通して語彙力を高めらるようにする。 (3) タブレット端末などのICT機器を学習に取り入れる。					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション 「自己紹介をしよう」 「様々な表現を知ろう」	8	◆ 説明を聞いてルールを理解する。 ◇ 友達への質問を考え、発表する。 ◇ いろいろな言い回しを知る。	○	○	
5 6	物語・詩を読もう	22	◆ 作品に親しみ、描かれている世界を感じる。 ◇ 登場人物に注目しながら読む。 ◇ 文学に親しみ、関心を深める。		○	○
7	漢字に親しもう	7	◆ 漢字への理解を深め、様々な表現に興味をもつ。 ◇ 漢字の成り立ち、構成を理解する。 ◇ 毛筆で字を書き、書に親しむ。	○		○
9 10	説明文を読もう	24	◆ 文章を読み、書かれた内容を捉える。 ◇ 文章の内容を確認しながら読む。 ◇ 書かれた内容について話し合う。		○	○
11 12	会話する力を高めよう	19	◆ 気持ちのよいコミュニケーションについて、理解を深める。 ◇ 相手を意識して、相づちやうなずきを行う。 ◇ 困ったときにどうするかを話し合う。		○	○
1 2	気になったニュースを発表しよう	21	◆ 時事問題に興味をもつ。 ◇ 自分の言葉でニュースの内容を説明する。 ◇ 友達の発表を聞き、質問を考える。		○	○
3	場面に合わせた言葉遣いをしよう	9	◆ 場面や状況に合わせて、正しい言葉を選ぶ。 ◇ 敬語のきまりを理解する。 ◇ 場面や状況によって、適切な表現を考える。	○	○	
通年	四字熟語・慣用句・ことわざ	—	◆ 四字熟語や慣用句、ことわざに興味をもち、生活の中で使えるようにする。 ◇ 成り立ちや使用例を知り、表現への関心を深める。 ◇ ことばの意味を理解し、適切に使う。		○	○
	級別漢字学習	—	◆ 自分の段階に合わせて、読み書きできる漢字を増やす。 ◇ 字形に注意しながら漢字を書く。	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年	
教科等名	社会（知）			学習グループ	④b	
ねらい	（1）現代生活における基本的な民主政治の仕組みを理解する。 （2）資本主義経済の仕組みや価格の変動など経済にまつわる国民の影響について知る。 （3）日本・世界の歴史や地理・地誌の特徴に興味・関心をもち、調べる物、事に対して主体的な態度で取り組む。					
担当教員	白崎健太郎			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	くらしに役立つ社会(東洋館出版)					
主な指導の工夫	（1）具体的なニュースや国際情勢の特徴を調べる。 （2）記者になった気持ちになり、自分が調べたニュース、事象・事柄などについて、それを具体化して写真などに印刷をし、分かりやすく、見やすくして発表する。 （3）ICT機器や視聴覚教材を多く用いて、わかりやすく体験的に提示する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	時事問題・ニュース		ニュースや身近な事柄の中にある社会科要素に気付き、興味・関心をもち。 ◆ 学習した内容を身近な事柄に当てはめ、深い理解と思考を引き出す。 ◇ 毎時間10分程度のニュースや身近な事柄を取り上げ、理解を深める。 ◇ 気付いたことや疑問に思ったこと、自分の意見などを発表する。 ◇ 気になったニュースを発表する。			
4 5 6	現代社会に生きる政治・経済の仕組みと国際社会	20	日本国憲法や政治・経済の仕組みを知り、現代社会に生きて行くための基礎知識を得る。 ◆			
7		10	◇ 憲法や法律を知り、国の政治の仕組み	○		
9		10	◇ 国際社会における国際連合の仕組み	○		
				◇ 消費生活と経済について知る。 ◇ ICT機器を使って調べる。 ◇ 調べたものをまとめて発表	○	○

10	日本や世界の地理歴史	20	地理歴史を考える上必要な時代考証				
11			◆ や地理・地誌を知るとともに外国とのつながりの移り変わりを学ぶ。				
12				◆ 我が国の優れた文化遺産や先人の業績を理解する。			
1			10	◇ ICT機器を使って調べる。		○	
2			10	◇ プリントで問題を解く。		○	
3	10	◇ 文化遺産MAPを作成する。	○		○		
			◇ 調べ学習と発表		○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1・3 年	
教科等名	数学（知）			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 基礎・基本的な概念や性質を理解し、数学的に解釈・表現・処理する力を身に付ける。 (2) 見通しをもって道筋を立て、基礎・基本的な性質を見出し、数学的に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					
担当教員	杉浦春久、池上舞			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	くらしに役立つ数学（東洋館出版社）					
主な指導の工夫	(1) 単元を横断して学習したり、既習事項を振り返ったりすることで、知識・技能の定着を図る。 (2) 身近な生活上の題材を用意し、問題の内容をイメージしやすくする。 (3) ICT機器を適宜利用して学習を進める。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	数と計算	35	◆ 数の性質、文字を用いた式について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。また、数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察したり、目的に応じて多様な表現方法を用いながら、数の表し方や計算の仕方などを考察したりするとともに、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を養う。 ◇ 整数の表し方 ◇ 整数及び小数の表し方 ◇ 概数 ◇ 整数の加法及び減法 ◇ 整数の乗法 ◇ 整数の除法 ◇ 計算に関して成り立つ性質 ◇ 問題演習			
6 7 9	図形	30	◆ 平面図形や立体図形についてその性質を理解し、作図したり、面積や立体の体積を求めたりする技能を身に付ける。また、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見出したりする力を養う。 ◇ 平面図形			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
			◇ 立体図形 ◇ ものの位置 ◇ 平面図形の面積 ◇ 問題演習	○ ○	○	○
10 11 12	変化と関係	40	◆ 比例や反比例の関係、比について理解するとともに、伴って変わる二つの数量を見出し、それらの関係について表や式を用いて表現したり、目的の応じて比で処理したりする方法についての技能を身に付ける。また、目的に応じて表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を考察したり、比例の関係を前提に二つの数量の関係を考察したりする力を養う。 伴って変わる二つの数量 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量 問題演習			
1 2 3	D. データの活用	30	◆ 量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに、それらを問題解決における使い方についての技能を身に付ける。また、目的の応じてデータを収集し、表やグラフに表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。 データの収集とその分析 問題演習			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第3年	
教科等名	理科(知)			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 身の回りの生物に興味をもち、自然を大切にする心を養う。 (2) 自然災害について知り、身を守る方法を考える。 (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。					
担当教員	郭 雅文			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	くらしに役立つ理科(東洋館出版社)					
主な指導の工夫	(1) 調べ学習や実験を多く取り入れ、主体的に活動する。 (2) 身近な科学的現象を題材に展開する。 (3) ICT機器を利用し、視覚情報によって知識が定着しやすいようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	生物(植物)	12	◆ 植物について知る。 ◇ 植物の観察 ◇ 葉の実験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 7	生物(微生物)	14	◆ 微生物について知る。 ◇ 微生物の役割について ◇ 発酵の実験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 10	生物(動物)	14	◆ ヒトやヒト以外の動物を知る。 ◇ 脊椎動物の5種類について ◇ 無脊椎動物について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 12	化学	12	◆ 物質の状態変化を知る。 ◇ 固体⇄液体の状態変化 ◇ 液体⇄気体の状態変化 ◇ 水溶液について ◇ 物質のすがた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1	地球と天体	6	◆ 地球と天体について知る。 ◆ 地球の環境の変化について考える。 ◇ 地球について ◇ 環境問題について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 3	気象と自然災害	12	◆ 天気と日常生活について考える。 ◆ 自然災害について知る。 ◆ 防災について考える。 ◇ 様々な気象について ◇ 自然災害について ◇ 防災について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
※ 評価の観点: 「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	肢体 (本校)	学部	高等部	学年	第 1・3 年	
教科等名	音楽 (知)		学習グループ		④b	
ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 (2) 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 (3) 音楽文化についての興味、関心、理解を深め、卒業後の余暇活動へとつなげる。					
担当教員	池上舞	年間授業時数	35 時間			
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 曲のイメージをつかみやすいよう、写真や映像で視覚的にもわかりやすい教材を取り入れる。 (2) 個人練習の時間を設けて主体的に活動できるよう促す。 (3) 幅広いジャンルの音楽の鑑賞、楽器の演奏体験を通じて興味・関心を広げる。					
月	単元 (題材) 名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	【器楽】 打楽器及び旋律楽器による合奏。指揮を体験する。 【鑑賞】 日本歌曲に親しもう「早春譜」、「この道」など	7	◆ 日本歌曲に親しみながら、曲の情景や雰囲気を感じ取る。 ◆ 合奏を通じて、テンポ、強弱の設定などについての理解を深める。 ◇ 歌詞の意味を理解し、曲の表現について考える。 ◇ 強弱記号や速度記号など楽典について理解し、実際に強弱などに気を付けながら演奏する。			
6 7 8	【器楽・鑑賞】 ヨーロッパの古典的な音楽の歴史、時代による様式などの違いを知ろう	6	◆ クラシック音楽を鑑賞し、歴史及び時代ごとの様式の特徴を知る。 ◇ 主な作曲家と楽曲についてその特徴などを知る。 ◇ 自分の好みの音楽や興味をもった楽器を見つける。			
9 10	【器楽・鑑賞】 日本の伝統芸能・伝統楽器についての理解を深める。	6	◆ 日本の伝統的な楽器や芸能について基本的な知識を身に付ける。 ◇ 日本の伝統芸能の歴史や主な芸能の種類を知る。 ◇ 映像及び実際の楽器による演奏を鑑賞し、関心をもつ。 ◇ 伝統的な楽器に直接触れて演奏する体験を行う。			
11 12	【器楽・鑑賞】 様々なジャンル、民族の音楽に親しみ、気に入った楽器を使って演奏しよう。	7	◆ 周囲とリズムやタイミングを合わせて演奏する。 ◇ 自分のやりたい楽器を選ぶ。 ◇ 譜面を見ながら、楽器ごとに個人練習をする。 ◇ タイミングやリズムを意識しながら周囲と合わせる。			
1 2	【鑑賞・器楽】 芸術鑑賞会に向けて	6	◆ 芸術鑑賞会に向けて、演奏楽器や演奏曲について事前学習する。 ◇ 演奏楽器を鑑賞、体験する。 ◇ 演奏曲を鑑賞、体験する。 ◇ 歴史や文化について知る。			
3	【歌唱・鑑賞】 卒業式の歌「旅立ちの日に」	3	◆ 卒業式へ向けて気持ちを込めて歌う。 ◇ 歌詞の意味や情景を考える。 ◇ パートごとに分かれて練習する。 ◇ 強弱や抑揚をつけて歌う。			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年	
教科等名	美術（知）			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。					
担当教員	八田早苗 杉浦春久			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 参考作品や制作手順をわかりやすく示す。 (2) 手や道具を使用して素材が変化していく経験を重ねられる課題を準備する。 (3) 繰り返すことで定着や発想の広がりを図る。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	モダンアート：にじみ 絵、吹き流し、ストリング（引き絵） 版画：モノ版画	12	◆ 様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を感じとる。 ◇ 色の3原色を水や風の動きで混色する。 ◇ 花の美しさを版画で表現する。デッサンから始める。	○	○	
6 7	版画：モノ版画 工芸：額縁の制作	16	◆ デッサンから版画の版制作への展開のできるスキルを学ぶ。 ◇ 花をアクリルで表現し版を制作し、版画を摺る。 ◇ 触れて変化する素材の面白さを体験する。		○	○
9 10	絵画：砂絵 陶芸：音の鳴るオブジェ	16	◆ 隣接する色との調和や全体の色調を意識しながら構図を考え出す力をつける。 ◇ 色砂を用いた描画。 ◆ 基本の土鈴にオリジナルのデザインを加えた作品を作り出す。 ◇ たたらや紐づくりなどの陶芸の技法を学び、作品作りに活かして制作する。		○	
11 12	絵画：生き物を描く（パチック等の技法を用いた描画）	10	◆ 選択した生物を表現する方法を模索し、効果的な技法を選んで描画する。 ◇ 本やネットなどから描きたい生き物を選択する。 ◇ 水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨン等を用いてパチックの技法を用いて生き物を表現する。		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
1	墨象：墨絵を描く	16	◆ 季節の行事を感じながら制作する。 ◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。			
2	デジタルアート：写真を		◆ アプリ操作を学習し、iPadでオリジナルのデザインを生み出す。			
3	コラージュする		◇ iPadを使って、写真の素材をコラージュして、Tシャツやエコバッグのデザインをする。		○	○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1・3年	
教科等名	保健体育（実技）			学習グループ	④b	
ねらい	（1）身体を動かす心地よさ、楽しさを味わい、積極的に身体を動かすとともに、日常的に体を動かしていこうという意欲を育む。 （2）様々な体の使い方を体験的に学ぶとともに、自分なりに動きを工夫する。 （3）友達と協力しながら活動する。					
担当教員	鎌形翼 上原千穂			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	（1）オリンピック・パラリンピックなどに関連付けながら日常的にスポーツの話をし、スポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 （2）目的に向けた主体的な過程を褒めることで、身体活動の楽しさを実感させ、生涯スポーツへの意識を高める。 （3）個々の障害の実態に応じて、課題やルールを設定する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	4	◆ 身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。 ◇ ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作 ◇ 3軸体操や柔軟ストレッチ運動			
5 6	陸上競技 体育祭種目練習	14	◆ 自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。 ◇ 自己記録に挑戦する ◇ ルールを理解し、作戦を考える ◇ 周囲と協力して競技を行う			
7	水泳	9	◆ 重力下では難しい、自発的な動きを引き出す。 ◇ 水慣れ ◇ 泳法指導 ◇ リラクゼーション			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9 10	球技 「ポッチャ」	12	◆ 自分が狙った場所にボールを打つことができる。 ◇ 投球の種類と練習方法について ◇ 作戦を立てる ◇ 投球練習、レクリエーション、両ルールの体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 12	球技 「ハンドサッカー」	10	◆ ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。 ◇ フィールドプレイヤー・スペシャルシューターとしての動きに特化する	<input type="checkbox"/>		
1	武道 「柔道」	6	◆ 伝統文化として武道の基本を理解する。 ◇ 柔道の心構えや特性について ◇ 寝技体験 ◇ 道着の着衣、つかみ、投げ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 3	球技 「卓球」 「テニス」	15	◆ ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を工夫する。 ◇ 打撃練習 ◇ ゴロ卓球、ゴロテニス ◇ 審判体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
	作業学習、現場実習から学ぶ		<p>◆ 職業生活に必要なことや、自己適性などについての理解を促し、働く力を身に付けることの意味を理解し、働くことへの意欲を高めながら、卒業後の進路について考える。</p> <p>◇ 自己実現と社会の一員としての役割</p> <p>◇ 適切なコミュニケーション</p> <p>◇ 実習壮行会</p> <p>◇ 実習報告会</p>			
					○	
						○
						○
						○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年	
教科等名	外国語（知）			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 日常生活に身近な語彙や簡単な表現を身に付けることができる。 (2) 初歩的な英語を用いて自分の気持ちなどを表現することができる。 (3) 異文化を意識することができる。					
担当教員	高橋 奈穂美			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 「聞く・話す」を中心に、「読む・書く」活動も取り入れる。 (2) 定型文を使用して、何度も繰り返し学習できるようにする。 (3) ALTやICT機器を通して、異文化を理解する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	ALTとの英会話	5	◆ コミュニケーションを積極的に取る。 ◆ 異文化理解を深める。 ◇ 自己紹介 ◇ 季節やニュースなどに関する表現			○
4 5 6 7	日常生活に身近な単語や表現を知る① 基礎英文法	10	◆ 日常生活に関わる表現・単語を理解する。 ◆ 基礎的な英単語を学ぶ。 ◇ 日付・天気・数字など ◇ 体の部位・漢字の意味など			○
9 10 11 12	日常生活に身近な単語や表現を知る② 基礎英文法	11	◆ 日常生活に関わる表現・単語を理解する。 ◆ 基礎的な文法ルールを知る。 ◇ 道案内・買い物（命令文など） ◇ 感情・体調（be動詞の文）			○
1 2 3	日常生活に身近な単語や表現を知る③ 基礎英文法	9	◆ 日常生活に関わる表現・単語を理解する。 ◆ 基礎的な文法ルールを知る。 ◇ 助動詞 can/mustなど ◇ 1年間の復習			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年	
教科等名	キャリア基礎Ⅰ			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 自分の仕事を責任をもって行う。 (2) 自らの課題を意識し、主体的に取り組む。 (3) ICTや本などを活用し自ら調べる力を養い、興味・関心の幅を広げる。					
担当教員	池上 舞、杉浦 春久			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 主体性を大切にし、課題を自分で決定するようにする。 (2) 行事の仕事や種検定対策など、必要に応じ課題を柔軟に決定する。 (3) 友達と話し合いながら取り組めるような雰囲気づくりを心がける。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	個別の学習 係活動 行事に向けて	105	◆ 設定された係を自覚し、取り組む。 ◇ クラス活動や行事に向けての係活動 ◇ 当日・翌日の予定把握と学習準備 ◇ 日々の掲示の整備・確認			○ ○ ○
	個別課題		◆ 主体的に課題を設定し、各々学習する。 ◇ 検定の勉強・漢字・計算・英単語 ◇ 身体のお組（体操・ストレッチ） ◇ 封入や組み立てなどの手作業	○		○ ○
	実習／職場見学に向けて		◆ 進路について調べたり考えたりする。 ◇ PCなどで仕事について調べる。 ◇ 実習／見学先日誌の記入 ◇ 実習／見学先へのお礼状書き	○	○ ○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ		
ねらい	（1）学校行事の事前指導・事後学習を通して、友達や先生と協力して活動する態度を養う。					
	（2）様々な環境の中で、それぞれのもつ力や良さを発揮する力を伸ばす。					
	（3）SDGsなどの社会の諸課題や、伝統文化を学ぶことで、社会や地域とのつながりを感じる。					
担当教員	石渡ひかり、杉浦春久、高橋奈穂美 張替良太、八田早苗、鎌形翼、小畑圭輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	（1）日常生活の中の身近な場面での題材や課題を設定し、学習する。 （2）学年全体やグループを超えた班ごとでの活動を取り入れる。 （3）体験的な学習を行うことで、自己の課題を明確化する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	高等部を知ろう	3	◆ 高校部の生活を知り、学年目標や係活動を定める。 ◇ 高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決定する。	○		
5 6	学期の行事の確認	8	◆ 学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ◇ 写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。		○	
7	宿泊行事に向けて	3	◆ 移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。 ◇ 場所の写真やスライドを見て、行く場所(地域)について考える。		○	
9 10	宿泊行事事前学習	8	◆ 移動教室で行く場所のSDGsを学習することで、社会とのつながりを感じる。 ◇ 班ごとにテーマを決めて活動をする。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11	墨東祭事前学習	2	◆ 先生や友達と協力して活動する。 ◇ 移動教室の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。	○		
12	移動教室・墨東祭事後学習	2	◆ 移動教室・墨東祭の学習を振り返る。 ◇ 調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。		○	
1	日本の伝統と文化	3	◆ 日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。 ◇ 書初めや正月遊びなどを体験する。		○	
2 3	主権者教育	3	◆ 選挙を通して社会を知る。 ◇ 模擬選挙などを行い、仕組みを学ぶ。			
3	進路について	3	◆ 卒業後の進路について考える。 ◇ ICT機器などを使って進路について調べる。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 自ら学び、考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成する。					
	(2) 様々な環境の中で、それぞれのもつ力や良さを発揮する力を伸ばす。					
	(3) 文化的な体験を通して、日常生活を豊かにする。					
担当教員	小川健、池上舞、 内田麻衣、上原千穂、志賀拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 日常生活の中の身近な場面での題材や課題を設定し、学習する。 (2) 学年全体やグループを超えた班ごとでの活動を取り入れる。 (3) 体験的な学習を行うことで、自己の課題を明確化する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	個人目標設定	3	◆ 個人目標や係活動を決める。 ◇ 1年間の活動に見通しをもち、目標や係を決定する。	○		
5 6	体育祭に向けて	8	◆ 体育祭の目的を把握し、競技や大会の運営に向けて取り組む ◇ 日程や内容を知り、当日の動きを理解する。		○	
7	進路実習に向けて	3	◆ 進路実習の意義を理解し、準備をする。 ◇ 実習先を把握し、実習日誌を記入する。振り返りとお礼状も作成する。		○	
9 10	進路決定に向けて	8	◆ 進路実習の意義を理解し、準備をする。 ◇ 進路報告と進路決定をする。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11	墨東祭事前学習	2	◆ 先生や友達と協力して活動する。 ◇ 事前学習で行った話し合いを活かして墨東祭準備を行う。	○		
12	墨東祭事後学習	2	◆ 墨東祭を振り返る。 ◇ スライドなどを見ながら発表を振り返る。		○	
1	日本の伝統と文化	3	◆ 日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。 ◇ 書初めや正月遊びなどを体験する。		○	
2 3	主権者教育	3	◆ 選挙を通して社会を知る。 ◇ 模擬選挙などを行い、仕組みを学ぶ。			
3	卒業に向けて	3	◆ 自立に向け、必要なことを学ぶ。 ◇ 余暇活動の充実、相談できる機関について知る。	○	○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活に活かす。					
担当教員	石渡ひかり、杉浦春久、高橋奈穂美 張替良太、八田早苗、鎌形翼、小畑圭輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	高等部の生活について	3	◆ 高等部の一年間の生活を知る。 ◇ 自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。		○	
5	学年の仲間との親睦を図る	2	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習			○
	新入生歓迎会に向けて	1	◆ 歓迎会の実施に向けて、リーダーシップをとる。 ◇ 役割分担して準備する。必要なことを教員に依頼する。			○
6	体育祭に向けて	4	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習		○	
7 9 10	移動教室事前学習	10	◆ 行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。 ◇ 係ごとに事前学習を行う。 ◇ 内容に関する話し合い、準備、練習など		○	○
11	墨東祭に向けて	3	◆ 役割をもって、仲間と協力する。 ◇ 発表内容について話し合い・分担 ◇ 全体練習		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	レクリエーション	3	◆ 期待感を高めて主体的に準備を進める。 事前・事後学習 しおり作り、係分 担など ◇		○	
1	伝統文化に触れよう	3	◆ 日本独自の伝統技術を体験する ◇ 調べ学習	○		
2	主権者教育	3	◆ 生徒会選挙を通して選挙を知る。 ◇ 模擬選挙を行う。		○	
3	1年間のまとめ	3	◆ 一年間の学校生活を振り返る。 ◇ スライドなどを見て一年間を振り返る。			○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	特別活動			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活に活かす。					
担当教員	小川健、池上舞、 内田麻衣、上原千穂、志賀拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する (3) 文化・社会的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	高等部の生活について	3	◆ 一年間の生活や行事を知る。 ◇ 自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。		○	
5	学年の仲間との更なる親睦を図る	2	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習			○
	新入生歓迎会に向けて	1	◆ 歓迎会の実施に向けて、リーダーシップをとる。 役割分担して準備する。必要なことを教員に依頼する。 ◇			○
6	体育祭に向けて	4	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習		○	
7 9 10	移動教室事前学習	10	行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。 ◆ ◇ 係ごとに事前学習を行う。 内容に関する話し合い、準備、練習など ◇		○	○
11	墨東祭に向けて	3	◆ 役割をもって、仲間と協力する。 ◇ 発表内容について話し合い・分担 ◇ 全体練習		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	レクリエーション	3	◆ 期待感を高めて主体的に準備を進める。 事前・事後学習 しおり作り、係分 担など ◇		○	
1	卒業に向けて	3	◆ 社会について学ぶ ◇ 卒業記念校外学習に向けた調べ学習	○		
2	主権者教育	3	◆ 生徒会選挙を通して選挙を知る。 ◇ 模擬選挙を行う。		○	
3	まとめ	3	◆ これまでの学校生活を振り返る。 ◇ スライドなどを見て学校生活を振り返る。			○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年	
教科等名	自立活動			学習グループ	④b	
ねらい	(1) 自分自身で身体の状態を把握して、健康を自己管理できるようになる。 (2) 積極的に身体のトレーニングをしたり、心身ともにリラックスしたりする姿勢を身に付ける。 (3) 関節の拘縮や変形を予防するとともに、筋力の維持・強化を図ることで、運動機能の維持と改善を図る。					
担当教員	杉浦春久、池上舞			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 自分の身体への意識を高め、自ら目的をもって活動できるような言葉掛けを行う。 (2) その日の健康状態、心理状態を把握し、メニュー決定のアドバイスをする。 (3) 自立活動部教員や外部専門員との連携を図り、アドバイスを取り入れる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	個別の取り組み	70	◆ 基礎的な体力をつけたり、体幹の筋力をつける。 ◇ 歩行・移動練習 ・車いすの自走 ・手つなぎ歩行 ・スロープ歩行 ・階段の昇降 ・ウォーカー歩行 ・電動車いすの操作 など ◇ 筋肉トレーニング ・背筋 ・膝立ち ・腕支持 ・よつばい ・立位 など ◆ 効果的な身体の動かし方を学び、力を抜いて疲労回復やリラックスする方法を知る。 ◇ ストレッチ ・体幹 ・上肢 ・下肢 など			
				○		○
				○		

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
			◆ 手指の操作性の向上させ、正確にものを扱う力を身に付ける。 ◇ 操作性の教材 ・ スイッチ ・ ビーズ ・ ひも通し ・ ブロック など ◆ 自分の意志や感情を適切な方法で正しく相手に伝えることができる。 ◇ コミュニケーション ・ 各種 I C T 機器 ・ 手話やサイン など			
						○
					○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第1・3年											
教科等名	作業学習			学習グループ	④b											
ねらい	(1) 各自の課題に対しての、責任をもって仕事を果たす力を育てる。 (2) 一定時間集中して丁寧に仕事を行い、報告を自分からできるようになる。 (3) 継続的に取り組むことで、流れに見通しをもって意欲的に活動する。															
担当教員	池上 舞			年間授業時数	140 時間											
使用教科書	なし															
主な指導の工夫	(1) 授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。 (2) 仕事の依頼者との交流を大切に、達成感を感じられるようにする。 (3) 見通しをもち、技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。															
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業	外	
4 5	仕事について考える	26	◆ 見通しをもち、自分の役割などについて確認する。 ◇ 指示理解 ◇ 継続した作業の体験活動		○											
6 7	作業の技術を上げていく	26	◆ 集中して作業に取り組む。 ◇ 様々な作業の体験活動			○						○				◎
9 10	作業の幅を広げていく	26	◆ 「1人でできた」という自信を付ける。 ◇ 手指を活かした仕事 ◇ 小物作成			○							○			◎
11 12	委託業務	26	◆ やるべきことを自分で考え、協力し合う。 ◇ PC操作（名刺作成）、封入作業など ◇ 環境の整備	○	○		○		○						○	○
1 2 3	成果を形にする	36	◆ 責任感をもち、やり遂げる。 ◇ 友達と協力した清掃作業 ◇ 用具の名称や使い方の理解 ◇ 教室・特別教室の清掃	○		○									○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度